

# 24 年度 氷見市教育総合センターだより 第 1 報

メールアドレス [kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp](mailto:kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp)

ホームページアドレス <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg000000416.htm>

## 学ぶことの意義

氷見市教育総合センター  
所 長 加野 陽子

昨年、灘校の国語教師で有名な橋本武氏が数えの白寿を迎えて臨んだ、二日間の特別授業が TV で放送された。「銀の匙」を教材に、生徒が「自ら考え、自ら気付く」授業展開である。まず、自分で考えた答えをノートに書く。次に、友達の考えを聞いて別枠に書き足す。そこで、自分の答えの足りなさに自ら気付いた生徒は、家へ帰って、自分の足りなかったところをさらに調べたり、整理し直したりする。教えているのは答えそのものではなく、学ぶことの面白さや学び方であった。

ところで、学習指導要領は改訂されたが、「生きる力の育成」を目指すことは変わらない。総則には、児童生徒の発達の段階を考慮しつつ、知・徳・体の調和のとれた育成を重視することが示されている。「知」は、「基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」である。上記の橋本氏は、「興味をもって自分が調べて掘り下げたことは、一生の財産になる。」と生徒に語っている。両者に通じるところがある。

しかし、この橋本氏の学習方法は、多数の東大合格者を生み出すまでは、なかなか周囲に認められなかった。学校での学習が、本当に子どもの身に付いているのか、気になるものである。

ある朝、通勤ラッシュで私の車は止まっていた。後方から、中学年ぐらいの男の子が小石を蹴りながら歩いてきた。その小石が、コツンと私の車に

当たった。男の子はしまったという顔をして私の方を見たが、前を向いて歩き出した。5、6歩進んだところで立ち止まり、振り返る。そばの女の子が、男の子に何やら話しかけている。男の子は、ずっとこちらを見ている。そして、急にペコンと頭を下げたのである。私がうなずくと、にこっとして前へ向かって歩き出した。

車が傷つくような出来事ではないのに、男の子はずいぶん心の中で葛藤したようである。頭を下げる行為の直接のきっかけは女の子にあるのかもしれない。例えば、「そんなに気になるのなら、謝ったらいいんじゃないの。」とアドバイスされたのかもしれない。でも、彼の行動から見て、ずっと気にしていたのは明らかである。二人の子どもの中や会話を想像しながら、学校での道德教育の成果が表れた姿だと感じた。通勤ラッシュも悪くないと思ったうれしい朝であった。

ところで、今年度から「教育総合センター」と名称を改めた。学習指導要領と同じく、児童生徒に「生きる力」を育てるため、教職員の指導力や資質の向上を目指すことに変わりはないが、氷見の教育における今日的な課題に対応するため、他の機関や各課と連携し、幅広い視野から事業を進めることにしたものである。知・徳・体の面からの研修会や氷見の教育振興基本計画に沿った調査研究を計画している。先生方の、積極的な参加や協力による「学び」に期待している。

## 24年度 教育総合センターの主な事業

今年一年、下記の事業を予定しています。有意義な成果が上がるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 1 教職員研修事業

- 特別支援教育研修会（5/30）
- 幼・保・小連携教育研修会（6月中旬）
- 生徒指導研修会（8/9）
- 不登校児童生徒理解研修会（8/9）
- 教育セミナー <道徳（7/27）、防災教育（8/30）>
- 学力向上研修会（8月上旬、12月中旬）
- ふるさと教育研修会（8月中旬）
- 授業力向上研修会 <道徳教育（7/27）、仲間に学ぶ研修（8月中旬）>
- 柔道指導者研修会（8月下旬）
- 理科教育研修会（9月中旬）

### 2 調査研究授業

- ふるさと教育推進委員会（委員6名）
- 学力向上推進委員会（委員11名）
- 理科教育研究委員会（委員6名）

### 3 教育相談事業

- 教育相談・・・電話、来所、訪問による相談（専用電話72-2620）
- 適応指導教室（あさひ）・・・指導員による指導
- 不登校児童生徒の理解を深める研修会（保護者対象）（6/9）

### 4 国際理解教育推進事業

- 外国語及び外国語活動に関する業務  
ALT4名、CIR1名を市内全小・中学校に派遣
- 小学校外国語活動に関する業務

### 5 学校評価推進事業

・学校関係者による評価（学校評議員による外部評価）の実施と結果の収集

### 6 教育サービス事業

- 教育サービス
  - ①教育資料の収集・提供、図書コーナーの充実
  - ②「要覧」「所報」「教育総合センターだより」「研究紀要」等の発行
  - ③研究・研修の援助
  - ④生徒指導等に関する相談
  - ⑤科学作品展の開催
  - ⑥教育論文・実践記録の募集・表彰（2月上旬）
  - ⑦自主研修の実施・補助
- 教科書展示会（市立図書館に展示）（6/15～7/1）
- 宿泊学習・修学旅行等期間中の指導員（養護教諭）の派遣

### 7 その他の事業

- 氷見の学力向上フロンティア事業  
・拠点校5校による研究と成果の普及
- 小中連携推進事業
- 「ひみっ子夢と希望」きらめき推進事業
- 小中連携いじめ対策検討委員会
- 氷見の教育基本方針推進事業



## 教育総合センター運営委員会のお知らせ

### 平成 24 年度 教育総合センター運営委員メンバー

(敬称略)

委員長：湖東 政俊 校長（北部中）	
副委員長：屋鋪 善史 校長（比美乃江小）	
委員：浦山 博 校長（朝日丘小）	仙城 徹仁 校長（南部中）
澤武 俊一 教頭（窪小）	林岸 勉 教諭（西條中）
金原 礼子 教諭（湖南小）	川岸 和史 教諭（海峰小）
早瀬 勝 教諭（西部中）	黒田雄一郎 教諭（灘浦中）

去る 4 月 26 日（木）に第 1 回教育総合センター運営委員会を開催しました。出席していただいた運営委員の方から、今年度実施予定の事業について貴重なご意見をいただきました。いただいたご質問やご意見等を紹介します。

#### 今年度から「教育研究所」から「教育総合センター」に名称が変わったことについて

- ・ 今までの「研究所」では、主に学校に目を向け、子どもたちや先生方に関する事業や研修等を行ってきた。学校における様々な今日的な課題を解明するためには、もっと、家庭や地域にも目を向けていかなければ解決しない事が多くなってきた。さらに、子どもたちが、「氷見」はよい所であり、ふるさとであるという意識を育てる必要がある。

そこで、今まで学校教育課や生涯学習課が主となって行ってきた「氷見の教育基本方針事業」、「ふるさと学習塾」、「親学び」等の事業に協力していくために「総合」の名を入れ「教育総合センター」と改称した。

#### 教職員研修事業が昨年の 17 項目から 13 項目に精選されていることについて

- ・ 研修会を夏休みに設定すると、校内研修ができないという意見があったので、同じ日に授業力向上研修会と教育セミナーを行ったり、昨年 3 回だった学力向上研修会を 2 回に絞ったりした。しかし、必要に応じて回数を増やすことも考えている。
- ・ ふるさと教育研修会に新採教員や市転入教員だけでなく希望者も参加できるようにしたので、たくさんの方が参加されるとよい。

#### 学力向上、小中連携、乗り入れ授業について

- ・ 昨年度、調査研究事業に小中連携教育推進委員会があったが、今年度は学力向上の中に小中連携を入れてしっかり取り組んでいきたい。小学校ごとの取組に差があるのでノートの使用方等を小中連携していけば、学力向上につながる。
- ・ 中学校で思うことは、学力を上げるのに、聞く力、読む力そして生徒指導が大切であり、学力向上の基盤になる。
- ・ 中学校区ごとに共通理解をし、校区の課題に応じて小中連携に取り組んでいきたい。
- ・ 毎週中学校の英語教師が校区内の小学校に訪れ、乗り入れ授業を行っている。体育や音楽でもできるが、中学校の教師の負担にならないように配慮が必要である。
- ・ 昨年、小中連携乗り入れ授業に参加し、9 年間の見通しがもって勉強になった。また、互いに教材研究をし、分担を決めて授業をした。中学校に小学校の発展的な単元があれば有意義な授業ができる。

# お知らせ

## 紙芝居 『稲むらの火』

原作 ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）

絵訳 伏黒 昇（教育記念館 館長）



小学5年生の国語の教科書（光村図書）「百年後の  
守る」に掲載されている「稲むらの火」（五兵衛のすぐれた決断と行動で村人が高台に集まり、津波の難  
を逃れるという物語）の紙芝居を伏黒 昇氏よりいただきました。臨場感あふれる絵で描かれています。  
子どもたちの学習にこの絵本を活用されてはいかがでしょうか。

利用されたい方は、教育総合センターまで連絡ください。

### 〇●〇図書のコーナーから〇●〇

教育総合センターでは、各種教育関係図書や教科書等を保管しています。  
また、第一会議室の前に次の月刊誌等を取り揃えて閲覧や貸し出しをしています。  
ぜひご利用ください。

- ・ 初等教育資料（東洋館出版）
- ・ 中等教育資料（学事出版）
- ・ 月刊教育研修（教育開発研究所）
- ・ 月刊生徒指導（学事出版）
- ・ 総合教育技術（小学館）
- ・ 道徳教育（明治図書）
- ・ 月刊学校教育相談（ほんの森出版）
- ・ 指導と評価（日本図書文化協会）

その他、内外教育（時事通信社）や日本教育新聞（日本教育新聞社）なども取り揃えています。  
さらに各種機関発行の紀要や報告書等も保管しています。

### 《 24年度 教育総合センターのスタッフ紹介 》

下記のメンバーでがんばります。よろしくお願ひします。

職 名	氏 名	事 務 分 掌
所 長	加野 陽子	総括
次 長	山崎 外美雄	計画・運営・管理
生活指導主事	荒屋 誠	生徒指導、教職員研修
指 導 主 事	栗原 紀子	学力向上、氷見の教育基本方針、広報、図書
指 導 主 事	山本 満里子	小中連携教育、ALT、学校評価
指 導 員	高澤 登志子	教育相談、適応指導
指 導 員	大鋸 広子	教育相談、適応指導
事 務	阿字野 美紀	予算・庶務・広報
副主幹(兼務)	東海 由紀	理科大好き「氷見っ子」育成事業に関すること
主 査(兼務)	天坂 正	氷見親学び学習推進事業に関すること
主 査(兼務)	小谷 超	中学校ふるさと発見塾に関すること
主 査(兼務)	釜田 孝恵	社会に学ぶ「14歳の挑戦」推進事業に関すること